

作成年月日	令和 2 年 7 月 13 日
作成部局課室名	教育委員会事務局文化財課

## 県立考古博物館 企画展「金銀銅の考古学」

貴金属である金銀銅は、洋の東西を問わず、古今を通じて人々に珍重されてきました。日本においても弥生時代以降、金銀銅を使って様々なものを作り出してきました。青銅で作られた銅鐸、金や銀で飾られた耳飾り、大量に埋められた銅銭などの出土品と、素材となる金属を採掘した鉱山遺跡の発掘調査の成果などから、金銀銅利用の歴史をたどります。

- 1 会 期 令和 2 年 7 月 23 日（木・祝）～8 月 30 日（日）
- 2 展覧会名 企画展「金銀銅の考古学」
- 3 会 場 兵庫県立考古博物館特別展示室（兵庫県加古郡播磨町大中 1-1-1）
- 4 主 催 兵庫県立考古博物館
- 5 後 援 兵庫県 兵庫県教育委員会
- 6 観覧時間 9:30～18:00（入場は 17:30 まで）
- 7 休館日 月曜日（祝日の場合は翌平日）
- 8 観覧料 大人 200 円(150 円)、大学生 150 円(100 円)、高校生以下無料  
（ ）は 20 名以上の団体料金、※70 歳以上の方は大人料金の半額  
※障害者手帳提示で本人は 75%減免、介助者 1 名は無料
- 9 展覧会の内容

### ① 金銀銅がやってきた

弥生時代に大陸から青銅器が日本に伝わり、古墳時代の中頃からは装身具などを金銀で飾るようになりました。弥生時代の祭りの道具である銅鐸や金や銀で飾られた耳飾りなどから初期の貴金属の利用について紹介します。

### ② 銭の時代の古代・中世

7 世紀以降に作られた貨幣や 12 世紀以降に流入した渡来銭の出土から、国内の経済の発展を知ることができます。また、その経済の発展により普及した工芸品を経塚に埋納された経筒や和鏡、城跡から出土した武具の飾りなどから見るすることができます。

### ③ 兵庫の鉱山遺跡

兵庫県内には、歴史上有名な多田銀銅山（猪名川町・川西市）や生野銀山（朝来市）など銀や銅を産出した鉱山が多数あります。

多田銀銅山の一部である猪瀨谷坑道群しんせがにこうどうぐんや生野銀山に関連する生野代官所跡関連遺跡などの調査成果から中世以降の金属生産の歴史を紹介します。

## 《展示のみどころ》

### おすすめの展示品

- ◎ 金銅製経筒 勝雄経塚かつおのきょうづか（神戸市北区）出土 県指定文化財 当館蔵

法華経を納めて、地中に埋められた筒形の容器です。経筒は青銅に鍍金（金メッキ）されたもので蓋表面には蓮華唐草文が浮き彫りされています。外面には納経者の名前「播州住良円」や年号「享禄三年」（1530）などが刻まれ、中には法華経 8 巻がきわめて保存の良い状態で残っていました。



◎ 和同銀錢 <sup>くどういせき</sup> 九藏遺跡 (南あわじ市) 出土 当館蔵

<sup>わどうかいちん</sup> 和同開珎は和銅元年(708年)に鑄造が開始された貨幣です。銀錢と銅錢の2種類があり、銅錢は古代の日本において最も多く発行された貨幣ですが、銀錢は発見例が少なく、県内では2例しかありません。



◎ <sup>ぼしんねんめいてつとう</sup> 戊辰年銘鉄刀 箕谷2号墳(養父市)の横穴式石室から出土  
重要文化財 文化庁蔵(当館保管)

刀身に「戊辰年五月□」の紀年銘をもつ鉄製の刀です。紀年銘は刀身に文字を彫り、そこに銅をはめ込む<sup>どうぞうがん</sup>銅象嵌の技法により入れられています。戊辰年の暦年については西暦608年と西暦668年の二説があります。



《関連イベント》

◆ 講演会 (参加費: 無料)

時間: 13:30~15:00 場所: 兵庫県立考古博物館講堂 定員: 60人 事前予約が必要

8月 8日(土) 「金銀銅の考古学を楽しむ」  
池田 征弘(当館学芸員)

問い合わせ先

兵庫県立考古博物館

〒675-0142 加古郡播磨町大中 1-1-1 【HP】 <http://www.hyogo-koukohaku.jp/>

【内容に関すること】

担当学芸員 池田 征弘 E-mail: Masahiro\_Ikeda@pref.hyogo.lg.jp

TEL 079-437-5562 (学芸課直通)

【取材・写真提供に関すること】

企画広報課 小谷 悦子 E-mail: Etsuko\_Kotani01@pref.hyogo.lg.jp

TEL 079-437-5589 (代表) FAX 079-437-5599



# 金 銀 銅

# の 考 古 学



2020.  
7/23<sup>thu</sup>  
— 8/30<sup>sun</sup>



| 観覧時間 | 午前9時30分～午後6時 (有料ゾーンへの入場は午後5時30分まで)

| 休館日 | 月曜日 ※祝日の場合翌平日

| 観覧料 | 大人：200 (150) 円 | 大学生：150 (100) 円 | 高校生以下無料  
※ ( ) は20名以上の団体料金 ※障害者手帳提示で本人は75%減免、介助者1名まで無料  
※70歳以上の方は大人料金の半額

| 主催 | 兵庫県立考古博物館

※入館にあたっては新型コロナウイルス感染防止対策にご協力をお願いします。

上 金銅製経筒 勝雄経塚出土 (神戸市) 出土 当館蔵 県指定文化財  
中 和同銀銭 九蔵遺跡 (南あわじ市) 出土 当館蔵  
下 望塚銅鐸 加古川市八幡町出土 当館蔵

触れる・体感する、考古学のワンダーランド。  
**兵庫県立考古博物館**  
Hyogo Prefectural Museum of Archaeology





宮前鉦山跡  
(多可町)



金銅製鋏形台  
宮内堀脇遺跡(豊岡市)出土  
当館蔵



異体字銘帯鏡 当館蔵  
(千石コレクション)

貴金属である金銀銅は、洋の東西を問わず、古今を通じて人々に珍重されてきました。日本においても弥生時代以降、金銀銅を使って様々なものを作り出してきました。青銅で作られた銅鐸、金や銀で飾られた耳飾り、大量に埋められた銅銭などの出土品と、素材となる金属を採掘した鉦山遺跡の発掘調査の成果などから、金銀銅利用の歴史をたどります。



金銅製単鳳環頭大刀柄頭  
窟屋1号墳(三木市)出土  
当館蔵



銀象嵌鐸  
沢の浦2号墳(丹波篠山市)出土  
当館蔵 県指定文化財



金環・銀環 太市中古墳群(姫路市)出土 当館蔵



戊辰年銘鉄刀 箕谷2号墳  
(養父市)出土  
文化庁蔵 重要文化財



猪瀬谷坑道群(猪名川町)

## 毎日曜日にできる古代体験

日曜日限定の古代体験をご用意しています。

◆実施日/7月26日(日)・8月2日(日)・8月9日(日)・8月23日(日)・8月30日(日)

◆当日予約受付/12:00~13:30(定員制)

◆体験時間/13:30~15:00(予定)

お問い合わせ ☎079-437-5564(学習支援課)

体験メニューは当日のお楽しみ!

## 講演会 \*要予約<応募多数の場合は抽選> 定員60名 時間13:30~15:00 当館講堂

8月8日(土)『金銀銅の考古学を楽しむ』池田 征弘(当館学芸員)

### 申し込み方法

▶オンラインでの申し込み 申込み〆切 7月24日(金)

●当館HPもしくはQRコードよりお申し込みください。



▶往復はがきでの申し込み 応募〆切 7月24日(金)必着

●往復はがきに下記の内容を記入して当館学芸課宛てにお送りください。

①開催日・講演会名 ②住所 ③氏名 ④電話番号(当日連絡のつく番号)

●抽選の結果を返信はがきでお知らせいたします。

抽選結果は7月25日(土)頃に発送致します。

お問い合わせ ☎079-437-5562(学芸課)



### アクセス

電車 | JR 土山駅南口から「であいのみち」を徒歩15分  
・山陽電車播磨町駅から喜瀬川に沿って徒歩25分  
車 | 第2神明・加古川バイパス明石西ICから約3km  
※博物館に駐車場はありません。できるだけ公共交通機関をご利用ください。周辺には播磨町大中遺跡公園駐車場(64台/有料)と播磨町野添であい公園駐車場(50台/有料)があります。

触れる・体感する、考古学のワンダーランド。

兵庫県立考古博物館  
Hyogo Prefectural Museum of Archaeology

〒675-0142 加古郡播磨町大中1-1-1

| 電話 | 079-437-5589

| H P | <http://www.hyogo-koukohaku.jp/>

